

## 府民公募型整備事業委員会（京都市域）開催結果

日 時 平成26年11月18日（火） 9：30～10：45  
 場 所 京都府庁福利厚生センター 第5会議室  
 委 員 同志社大学政策学部教授 今川 晃（座長）  
 京都商工会議所産業振興部長 才寺 篤司  
 京都市建設局長 藤原 正行（代理出席 山田防災・減災担当局長）  
 京都府総務部長 志田 文毅（代理出席 辻村総務調整課長）  
 京都府建設交通部長 東川 直正（代理出席 川口副部長）  
 京都府教育委員会管理課長 岩城 克己（欠席）  
 京都府警察本部交通規制課長 宮路 正美

### 1 提案状況について

応募状況について報告

- ・京都市域 125 件 （建設関係 36 件、警察関係 88 件、教育関係 1 件）
- ・府内全体 1,577 件 （建設全体 1,227 件、教育関係 7 件、警察関係 337 件、その他 6 件）

### 2 事業採択・事業実施報告について

第1回委員会において府民提案型事業37件の提案について意見聴取を行っており、残り88件について技術審査結果のとおり事務局案を提示し、うち47件について実施する方向で意見聴取を行った。

施設区分	提案総数		第1回目		今回分			
	府民提案型	市町村協働型	(8/21)	実施決定	府民提案型		市町村協働型	
					事務局案			
					実施する	実施しない		
<b>建設関係</b>	<b>36</b>	<b>7</b>	<b>36</b>	<b>30</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
安心・安全整備	35	7	35	29	0	0	0	0
景観整備（美化）	1	0	1	1	0	0	0	0
<b>教育関係</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
安心・安全整備	1	0	1	1	0	0	0	0
景観整備（美化）	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>警察関係</b>	<b>88</b>	<b>10</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>88</b>	<b>47</b>	<b>41</b>	<b>10</b>
安心・安全整備	88	10	0	0	88	47	41	10
景観整備（美化）	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>全 体</b>	<b>125</b>	<b>17</b>	<b>37</b>	<b>31</b>	<b>88</b>	<b>47</b>	<b>41</b>	<b>10</b>

### 《委員からの主な意見》

- 事務局案の通りで採択として問題はないが、日常使っておられる府民の方が不安に思っ提案されているものであるため、実際公共事業としての実施は難しくても、不採択とする提案に対して、単に不採択の旨の通知だけにせず、対応を丁寧にすることを検討されたい。

また、例えば横断歩道で待っている歩行者を見たときは、車両が停止して歩行者を横断させるといったマナーが浸透すれば、信号機の設置についての提案も減ると思われるので、ドライバーのマナー向上などのソフト面での取り組みを行うようにしてはどうかと思う。

- 交通量の調査などはどのようにして行っているのか。
  - 提案箇所ごとに最低でも2回以上、時間帯をずらすなどして現場の状況を確認している。
- 事故の軽減という観点から、歩車分離式信号機の交差点が増えてきているが、歩行者の認識が甘かったり、交通量の多い道路などでは渋滞が発生したりと、個人的にはかえって危険と覚えることも多いが、歩車分離式信号機の効果はどのようなものか。
  - 警察庁が検証したところでは、歩車分離式信号の設置により、人身事故が減少し、車両も歩行者との交錯がなくなることからスムーズに走行できるなどの効果があったほか、京都府においては、交通量の少ない交差側道路が多くあり、その青時間を減らすことができるなどの効果がある。また、歩車分離式信号機の設置の際には近隣住民に説明を行って周知するようにしている。
    - ・今一度、交通安全教育など、周知徹底をお願いしたい。
- 今回不採択とした中に道路構造上の理由で実施不可のものもあったが、京都市としても、道路管理者という立場から協力できるものについては、調整を行い、一つでも府民提案が反映されるよう協力していきたい。